

(お 知 ら せ)



平成 21 年 2 月 4 日
日本原子力発電株式会社

敦賀発電所の近況について

敦賀発電所の近況について、以下のとおりお知らせします。

1. 運転状況について（2月4日現在）

（ ）内は定格電気出力

1 号 機 沸騰水型（35万7千kW）	第32回定期検査中 定期検査の工程表は別紙1のとおり
2 号 機 加圧水型（116万kW）	第16回定期検査中 定期検査の工程表は別紙2のとおり

2. 故障等の状況について（平成21年1月10日～平成21年2月4日）

（1）法律に基づく報告事象

なし

（2）安全協定に基づく異常時報告事象

なし

（3）保全品質情報等

なし

3. 敦賀発電所1号機 第32回定期検査の状況について（2月4日現在）

敦賀発電所1号機は、平成20年11月7日から第32回定期検査中で、現在、耐震裕度向上工事を実施しています。この度、当初の定期検査計画に含んでいなかった、格納容器冷却海水系配管の耐震裕度向上工事の具体的な工法等が決まり、本工事を定期検査中に実施することとしたために定期検査工程を見直した結果、調整運転の開始が平成21年6月上旬より、8月中旬に変更になります。

＜参考図参照＞

4. 敦賀発電所3, 4号機準備工事について(2月4日現在)

(1) 防波堤・護岸等の構築

防波堤・護岸等の構築作業は昨年12月中旬にほぼ完了しました。

(2) 敷地造成工事

背後山地の切取工事を実施するとともに切取土による埋立工事を実施しています。

5. その他

(1) げんでんふれあいギャラリー

＜個人・グループでの芸術活動、趣味の発表の場としてご利用頂いております。＞

1) 第11回「ふるさと大賞」写真コンテスト入賞作品展示会

〔げんでんふれあい福井財団主催による、第11回目を迎えた「ふるさと大賞」写真コンテスト入賞作品展です。福井県内在住及び学校・勤務先が福井県内であるアマチュアカメラマンを対象とした写真コンテストです。今年度のテーマは「ふるさとふくい」の輝きで、入賞作品を61点展示しています。〕
(2/3~2/15)

2) 須恵野焼展

〔須恵野焼振興会(若狭町末野) 杉井敬三様・杉井とみの様・平岡貴志様による、陶芸作品展です。若狭町末野には、奈良・平安時代にかけての窯跡群があり、古来から若狭窯業の中心地だったとされています。末野の土は鉄分を多く含んでおり、その鉄分により焼きあがった時の茶褐色が須恵野焼独特の味わいとなります。花器や食器など約60作品を展示予定です。〕
(2/17~3/1)

3) 敦賀番傘川柳会 作品展

〔敦賀番傘川柳会(代表:原 操様)の12名の皆様による作品展です。敦賀番傘川柳会は昭和30年に発足し、毎月第1日曜日の午後に句会が開催されています。当ギャラリーでの展示は、はじめてとなります。色紙や短冊を46点展示予定です。〕
(3/3~3/8)

(2) げんでんふれあい福井財団イベント

＜福井県内の芸術・文化振興活動として以下の事業を実施します。＞

1) げんでんふれあいスペシャル2009 (3/14)

横浜夢座「憂いも辛いも、いろはにほへと」—長谷川伸八景—

時 間: 開場 18:00 開演 18:30

出演者: 五大路子、大和田伸也ほか

場 所: 敦賀市民文化センター

チケットは、1/25よりげんでんふれあいギャラリーにて販売しています。

2) 第10回「げんでんふるさと文化賞」及び「げんでん芸術新人賞」表彰式

〔福井県の文化普及・発展功労者及び将来期待される新人芸術家への表彰式〕

於：当社 敦賀地区本部 (2/7)

3) 第11回「ふるさと大賞」写真コンテスト表彰式

〔げんでんふれあい福井財団主催写真コンテストの表彰式〕

於：当社 敦賀地区本部 (2/7)

4) 第11回「ふるさと大賞」写真コンテスト入賞作品展示会

〔げんでんふれあい福井財団主催写真コンテスト入賞作品展〕

於：げんでんふれあいギャラリー (2/3～2/15)

於：ショッピングシティ ベル（福井市）(2/20～2/25)

(3) 次世代層への教育支援活動関連イベント

＜次世代層への環境・エネルギー等に関する教育支援活動として、以下の事業を実施します。＞

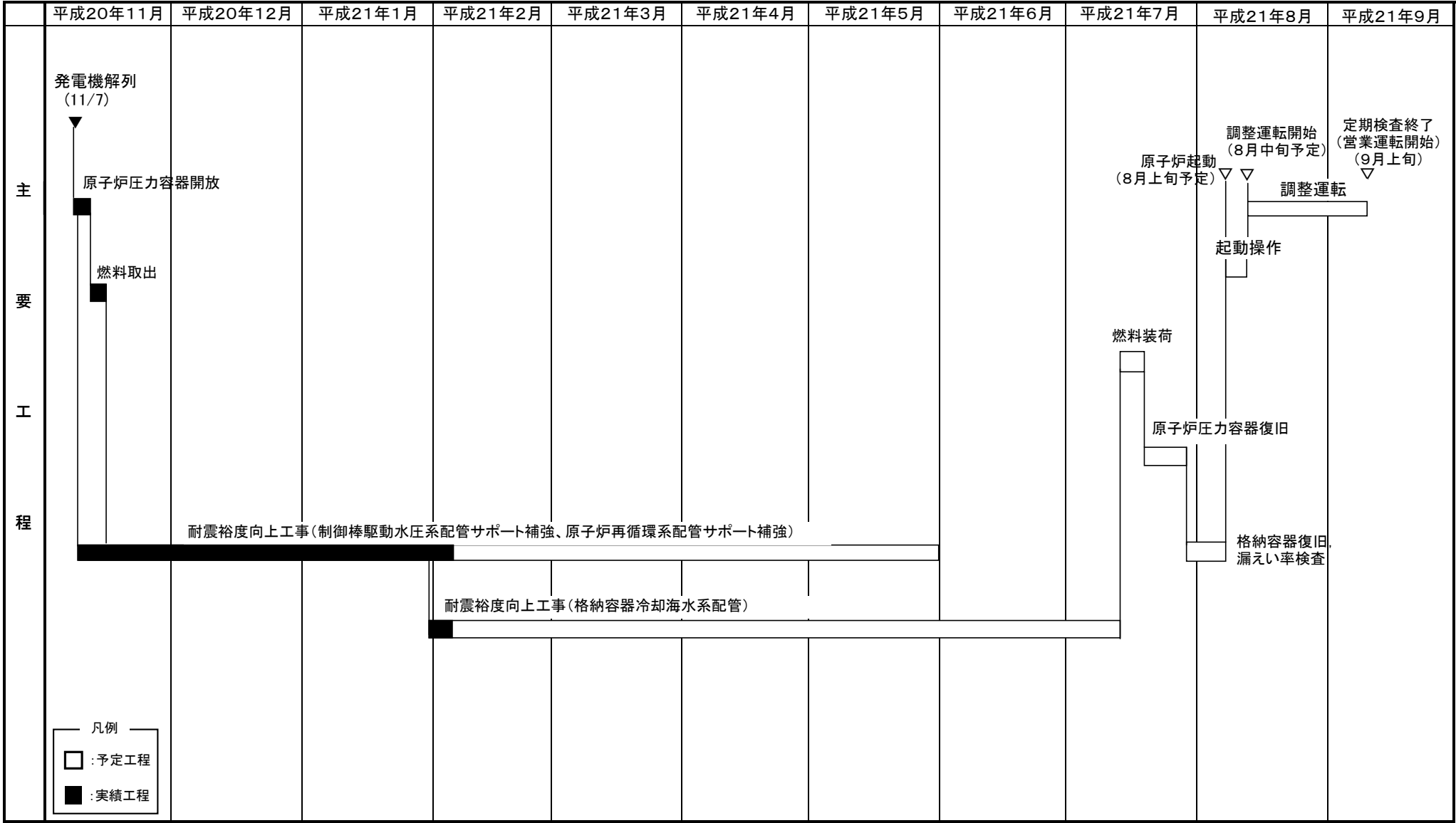
1) 敦賀地区げんでんeまなびクラブ交流会

〔学習成果発表と工作教室 対象：げん丸塾生（会員制）他〕

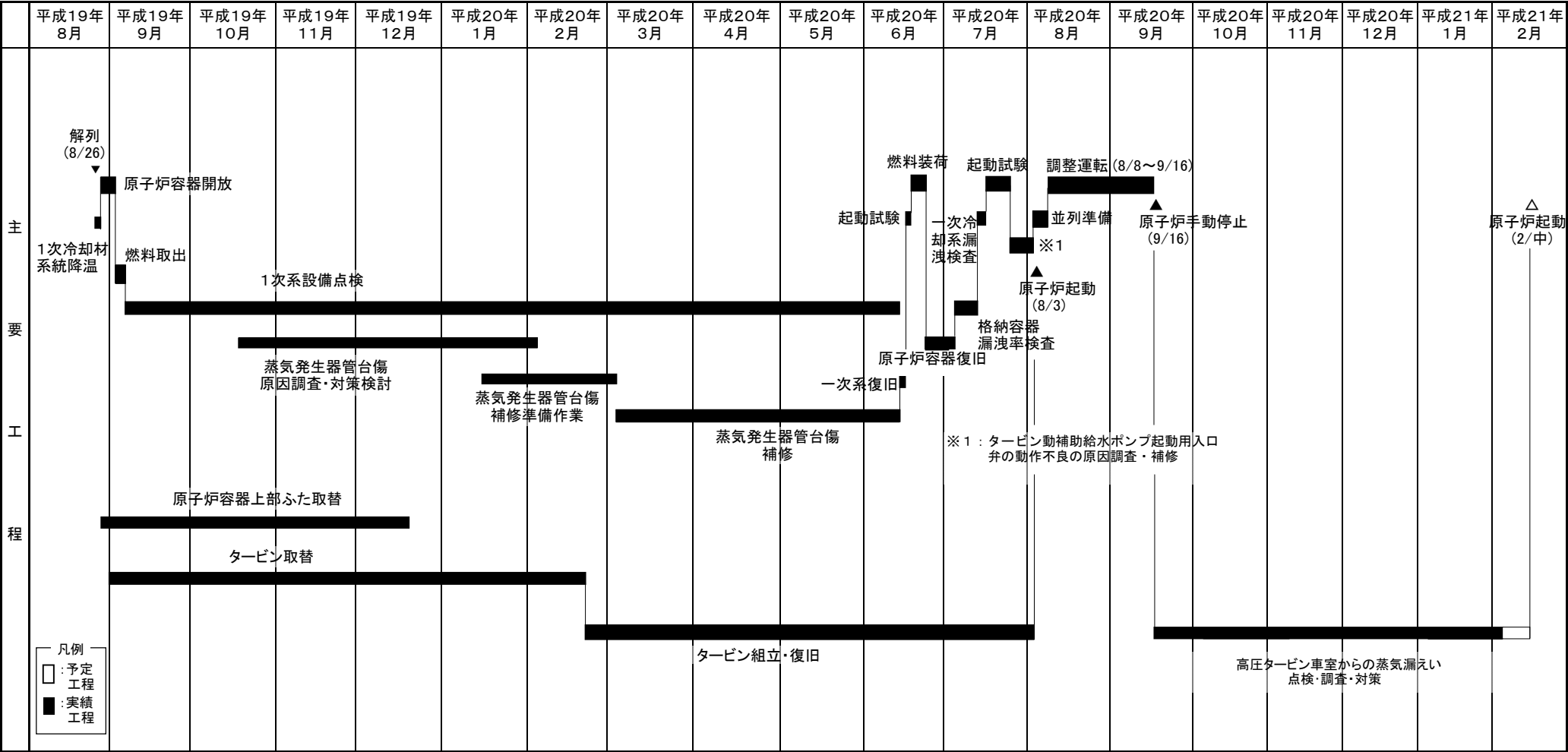
於：敦賀原子力館 (2/15)

以 上

敦賀発電所1号機第32回定期検査の作業工程



敦賀発電所2号機第16回定期検査の作業工程



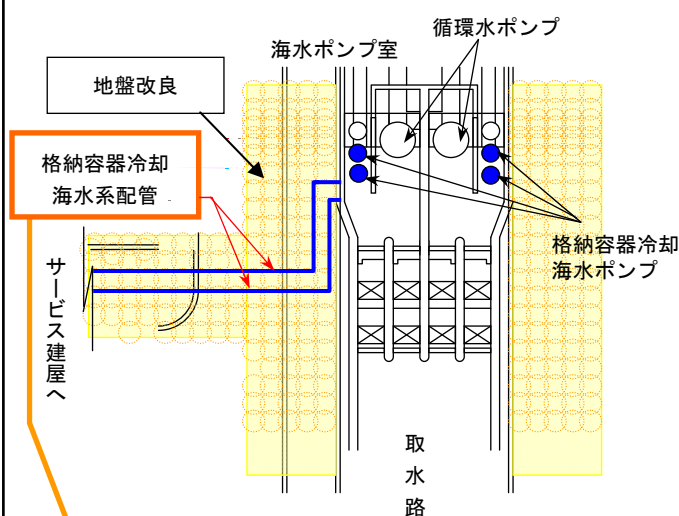
格納容器冷却海水系配管の耐震裕度向上工事

概要

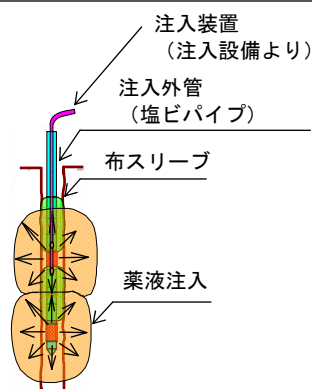
格納容器冷却海水系配管※の耐震裕度向上工事は、当初計画（年間保守運営計画）では、配管周りの地盤改良等による補強工事としていましたが、当該配管は直接埋設されており、地震時の配管支持機能を一層強化するため、鋼管杭による配管基礎を設置し、その上に新設配管を敷設する工事に変更します。

※：原子炉冷却材喪失事故により格納容器内に放出される蒸気や高温水、炉心の崩壊熱は格納容器冷却系にて冷却します。さらに格納容器冷却系の系統水を冷却するために格納容器冷却海水系があり、この海水を供給する配管。

当初計画（平面図）



<薬液注入による地盤改良イメージ図>



<薬液注入による地盤改良の概要>

地面にボーリングマシンで孔をあけ、注入外管を挿入し、薬液を注入する。注入した薬液は、土粒子間の水と置き換わりながら浸透し固まることで、地盤の液状化防止及び強度増加の効果が得られる。

格納容器冷却海水系配管の耐震裕度向上工事概要図（断面図）

格納容器冷却海水系配管（CCS配管）のうち海水ポンプ室からサービス建屋の区間については、現状、地中に直接埋設されているが、地震時の配管支持機能を一層強化するため、岩盤に直接支持させた杭基礎（鋼管杭）を設置し、その上に新設配管を敷設する。

